＊＊＊＊＊＊あなたの町の情報誌＊＊＊＊＊＊

住まいル新聞

日本ステンレス工業株式会社
発行/日本ステンレス工業株式会社
〒409-0617 山梨県大月市猿橋町殿上630-1
電話=0554-22-2500
FAX=0554-22-5234
Vol.166 2013 7月号

地名の由来　大月市の地名　井上　豊

三【神にかかわる地名】

神様にかかわる地名をしらべてみた。

「宮」の文字をもつ地名が三五、「神」のつく地名が二三、「権現」、「山王」、「八幡」などが十三で、合計七一の地名が神様とかかわっている。私たちの先祖はこの地で生きていくために、何か確かな手掛かりを求めて大自然の根源なるものを求めてそれにすがる手段を開発した。それが神であった。しかし寺の住持にくらべ神社の神主の存続が現在きわめて少なくなっている現状は問題視されてよい。

イ）ミヤ・・宮の原（笹子）・宮ノ下・宮原・宮原（大月）・宮ノ西（花咲）・小佐野宮平・宮ノ入（真木）・宮ノ越（奥山）・宮向・新宮（畑倉）・宮ノ腰・宮ケ尾・宮谷沢（淺川）・ミヤノサワ（林）・宮原（瀬戸）・若宮・宮ノ崎・十二宮（藤崎）・宮ノ向・宮ノ脇・宮地（朝日小沢）・宮原（殿上）・宮ノ脇（小篠）・宮ノ沢（鳥沢）・若宮・宮ノ上・宮ノ脇（宮谷）・宮ノ前・宮下・宮ノ原（立野）・宮地・宮ノ原（綱ノ上）・宮替戸（塩瀬）・宮ノ脇・宮ノ原（新倉）

宮ノ原

ロ）カミ・・石神戸上・石神戸下（笹子）・神戸北・神戸南・子神沢・神戸北（初狩）・銭神・神原・神座久保（真木）・祭ノ神（大月）・子神森（岩殿）・天神ノ尾（下和田）・山ノ神・天神前・天神下（猿橋）・沢神・菖蒲天神下（殿上）・山ノ神戸（小沢）・神ケ井戸（鳥沢）・沢ノ神（宮谷）・天神川（塩瀬）・荒神堂（綱ノ上）・子ノ神坂（新倉）

ハ）ソノタ・・権現原（真木）・権現堂（小篠）・山王沢（葛野）・上山王・下山王（宮谷）・八幡（下和田）・八幡向・上八幡向（塩瀬）・諏訪原（葛野）・諏訪原（朝日小沢）・御嶽沢（葛野）・御伊勢越（藤崎）・精進場（宮谷）

御嶽沢

私たちの先祖がこの地に定住しはじめて、しだいに生活圏を拡大し、その圏内はもとより周辺地域と交流交易するようになると、地名が必要な条件として発生するようになったと考えられる。特徴のある地形や大樹、巨岩などが共通の目印や約束事として各地を成立させたと考えられる。

縄文や弥生の頃からの地名がいくつか今に残っていると思われるサスやソウリがそれであるが、その近い頃に自然崇拝、祖先信仰から神の存在が意識されるようになり、その象徴としてヤシロが造られるようになったと考えられる。そうした中でもヤマノカミはかなり原初的な信仰形態として発生したものと思われる。

四【仏にかかわる地名】

仏教がわが国に伝来したのは六世紀の半ばの頃であるから、仏にかかわる地名はそれ以後のことになる。したがってカミやミヤに比べて少ないのは当然といえる。しかし寺は神を祀る神社にくらべて住職の存続がかなり強力である。これは現状や将来への神の信仰よりも死後の平安と浄土への希求が強くもとめられたからではなかろうか。

イ）テラ・・寺門（初狩）・寺久保・寺前（畑倉）・寺沢（強瀬）・寺原（下和田）・寺平（駒宮）・大寺（瀬戸）・寺山（猿橋）・寺ノ上（殿上）・寺向・寺窪（鳥沢）

ロ）ジ・・寺源沢（初狩）

ハ）ソノタ・・地蔵窪（大月）・地蔵窪（下和田）・穴観音山（下和田）・魔王坂（淺川）・道西魔王（猿橋）・エンマ堂道上（殿上）・天王・天王平・天王東向・天王西向（下和田）・天王原（葛野）

甲斐国志によれば、大月には寺院が五七記載されている。北都留郡誌では四三となっている。この差は時代の流れの中で消滅を余儀なくされた結果とみることができよう。こうした中で、寺にかかわる地名は十一、地蔵や穴観音などが一〇となっている。その地に寺が建立され、寺のまわりの原や平地、窪地が地名に結びついたものの中で、寺源沢は寺の起源を如実に表した地名と云えよう。

五【植物にかかわる地名】

一）、むかし四木（しぼく）として大切にされた桑、漆、茶、楮についてその地名をみてみよう。

イ）クワ・・桑原・桑原向（笹子）・桑才（真木）・桑久保（下和田）・桑田（駒宮）・桑原久保（葛野）・大桑・日影大桑（猿橋）・桑田・桑原（朝日小沢）・大桑（鳥沢）・桑原・桑田（綱ノ上）・・・・十三

ロ）ウルシ・・漆久保（初狩）・漆原大幡下（猿橋）・漆原（朝日小沢）・・・・三

ハ）チャ・・茶どう（畑倉）・茶畑（朝日小沢）・・・・二

茶畑

ニ）コウゾ・・なし

田地の少ないこの郡内では、麦、アワ、ヒエ、キビなどの生産が主で、養蚕が生計の主流をしめていた。養蚕は昔から盛んで、甲斐絹の生産量も多かったことが記録として残されている。市内にあった生産者の中には江戸日本橋の白木屋、大丸店などと幅広く取引をしていた。甲斐絹はふつう「海気」と書かれ、仮名書きでは「かへき」と注文書などには書かれている。少し紹介しよう。

「色海気・・・紅梅六疋、浅黄五疋、玉虫三疋、紺玉拾疋、単二十疋・・・」とある。色物の甲斐絹である。単はもちろんネズミ色の甲斐絹である。ちなみに絹一疋の値段であるが、一両ほどであった。一両は時代によっ

次ページに続く

地名の由来 歴史探訪

続　大月市の地名

井上　豊

て差があるが、白米一石の値段であった。今の金では八万円ほどである。

二）、狩猟や採集が中心だった縄文時代では、ドングリ、クリ、トチの実が貴重なカロリー源であった。その名残を引くと思われる地名がある。

イ）クリ・・栗差（笹子）・平栗沢（初狩）・平栗・栗ノ木坂（畑倉）・栗林・栗ほしば（駒宮）・栗原（猿橋）・栗ケ平（藤崎）・大栗山（殿上）・平栗（宮谷）・豆栗・売栗（立野）・・・十二

ロ）トチ・・トチ久保（下和田）・トチクボ（林）・栃平（瀬戸）・栃川（立野）・・・四

キ）・

ハ）クルミ・・クルミザス（塩瀬）・・・一

この他今も家の周りなどに植えられている植物地名をみると、一番多いのが梅である。

ニ）ウメ・・梅久保・梅ケ久保（笹子）・梅久保・梅久保山（真木）・梅久保（下和田）・梅沢（猿橋）・梅カメ・梅子沢（藤崎）・梅子横道上・梅子横道下（殿上）・・・一〇

ホ）カキ・・柿久保（初狩）・柿木平（淺川）・上柿沢・下柿沢（猿橋）・柿沢（朝日小沢）・・・五

ヘ）ナシ・・梨ノ木坂（初狩）・東梨木戸（下和田）・梨木道上・梨木道下（猿橋）・・・五

ト）スモモ・・李（すもも）久保（初狩）・一

チ）ザクロ・・柘榴（ざくろ）畑（藤崎）・・一

昔は、と言っても私（現在八二歳）の感覚であるが、家の周りにはスモモやボタンキョウ、ユスラウメ、グミなどが、渋柿や甘柿などの大きな木の下に植えられていて、遊び仲間たちと頬張ったものである。今その原風景が消えている。地球の温暖化現象と関係があるのだろうか。谷沢に生えていた黄イチゴの甘みが忘れられない。

リ）サクラ・・昔から日本人の心をなごませる象徴であった桜のかかわる地名を見てみよう。

桜沢（初狩）・桜木（立野）・奈良桜（綱ノ上）・奈良桜（新倉）・・・四

ヌ）建築材として松や杉の木がいつの頃にも使用されたと思われるが、地名を見ると松に関するものは皆無である。これは、杉の木があちこちに自生していて、特殊な地名になりえなかったものと思われる。

マツ・・松沢・松沢（笹子）・松木畑・松の木平（真木）・松葉（淺川）・松葉（猿橋）・三本松（藤崎）・松山（宮谷）・松葉高木（篠）・・・九

ル）ブナ科の落葉高木カシワの木もあちこちに自生していたように地名に残されている。

カシワ・・柏木口（笹子）・大柏（初狩）・柏沢（真木）・黒柏木（淺川）・黒柏日向・日向黒柏（朝日小沢）・・・七

ヲ）穀物にかわる地名をあげてみよう。ムギ、アワ、ヒエなどみられない。マメ類が多い。

マメ、アズキ・・豆沢（笹子）・小豆沢（初狩）・小豆野（真木）・ま免ぶし原（下和田）・マメブシ原（宮谷）・・・五

ワ）米に関する地名では、

米沢（笹子）・軽米栃木ノ上（猿橋）・軽米（朝日小沢）・・・三

やはり田地の少ない土地柄と言える。そして、「軽・カル」の文字にその土地のようすをうかがい知ることができよう。

カ）この他、植物にかかわる地名で面白いものを上げてみよう。

傘木・カラカサギ（初狩）・場知木・バチキ（立野）・草背負・クサセオイ（真木）

＊クイズ一の答え＊

一、ハ
二、ロ
三、ハ
四、ロ
五、ハ
六、イ
七、ハ
八、ニ
九、ハ
十、ロ

六【動物にかかわる地名】

二三種類の動物にかかわる地名が残されている。猿、熊、馬、狐がそれぞれ三で、後は二となっている。

イ）サル・・猿畑（笹子）・サル渡り道上（下和田）・サルワタリ道上（宮谷）・大猿橋（猿橋）・・・四

ロ）クマ・・熊沢（真木）・奥熊野（藤崎）・熊沢（殿上）・・・三

ハ）キツネ・・狐穴（下和田）・狐尾（駒宮）・狐窪（藤崎）・・三

ニ）ウマ・・駒合・馬飼場（下和田）・馬場（宮谷）・・・三

ホ）ウシ・・丑丸戸（初狩）・ウシカイ（林）・・・二

ヘ）シカ・・大鹿（笹子）・鹿久保（葛野）・・・二

ト）イノシシ・・猪河原（真木）・猪久保（葛野）・・・二

チ）テン・・貂窪（藤崎）・貂沢（立野）・・・二

リ）オシ・・鴛尾（猿橋）・鴛尾（藤崎）・・二

ヌ）カメ・・大亀（花咲）・三亀石（真木）・・・二

ル）一例の地名

タコウチ（初狩）・鷹巣（花咲）・蟹沢・雛ザス・鵜峠（真木）・カ良す田（岩殿）・雁ケ原榴（奈良子）・鳩むね（下和田）・雀沢（淺川）・蛇窪（猿橋）・トビの巣（朝日小沢）・猫畑（小沢）・サナギザワ（立野）

八月号へつづく…

提供者募集

大月市の写真や以前の風景が写った写真を持っている方を探しています。もし持っている方で、写真を貸して下さる方がいましたら下記の電話番号までお知らせ下さい。ご協力宜しくお願い致します。

住まいル新聞編集部
TEL：0554-22-2500